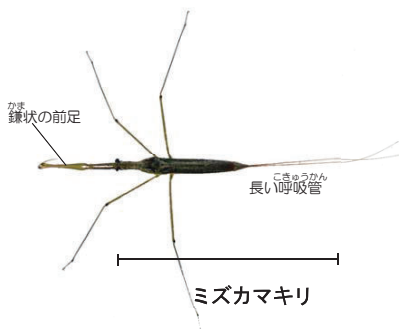


きたない水(水質階級Ⅲ)の指標生物

ミズカマキリ

大きさは7cmくらいで体は細長い。陸上にいるカマキリのように、前足でほかの小動物をつかまえて、その体液を吸う。主に池や沼、水田にすんでいるが、川岸の流れのゆるやかな場所にもすんでいる。



ミズムシ

体長は大きくなっても1cmくらいで、ワラジムシに似た形で上下にやや平たくなっている。足は5対以上で、ゆっくりはう。体は汚れたような灰色または茶色。

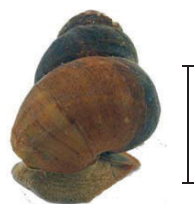
- まちがえやすい生物

よく似たヨコエビもいるが、ヨコエビの体は左右に平たく、ときには赤みをおびる。



タニシ類

タニシの主な種類は4種類である。殻は薄く、赤茶色のふたがあり、流れのゆるやかな泥底にすんでいる。殻の先が欠けていることが多い。



シマイシビル



ニホンドロソコエビ



イソコツブムシ類

線の長さは実物の大きさの目安です。

シマイシビル

大きさは3~4cmで、体節がある。大きく伸び縮みして動く。

体は上下に平たく、背面にしま模様がある。腹の前後の端に吸盤があるが、前の吸盤は見にくい。

水に沈んでいる石などの裏側などにすんでいる。淡水域にいる日本産ヒル類は約30種類。

- まちがえやすい生物
- ウズムシ類は吸盤や体節がない。

ニホンドロソコエビ

体は左右に平たく、ちぎれやすい。また、細長い触角があり、泥の多い川底にいる。

主に海水のまじった汽水域にすんでいる。

イソコツブムシ類

陸にいるダンゴムシに似て、体を丸めることができる。砂まじりの川底や石の間にすんでいる。

水中をすばやく泳ぎまわることができる。

主に海水のまじった汽水域にみられる。

出典：「川の生きものを調べよう」環境省・国土交通省編